

## 将来世代応援知事同盟 第1回イクボス度調査の集計結果

### 調査実施概要

#### (1) 調査期間

平成29年6月19日(月)～6月30日(金)

#### (2) 調査方法

同盟県の管理職に Web 調査を実施

\*同盟加盟県

岩手県、宮城県、福島県、長野県、三重県、滋賀県、岡山県、広島県、  
山口県、鳥取県、徳島県、高知県、宮崎県

#### (3) 回答数

対象者 4,526 名のうち、回答者 3,750 名 (回答率 : 82.8%)

#### (4) 調査項目

5つの視点からイクボス度をセルフチェック

##### 視点① コミュニケーション

職場のチーム力を高めるために、部下と自然に多様な対話ができるコミュニケーションスキルがあるか、コミュニケーションの機会を作っているか、多様な価値観を認めているか、などを確認しました。

##### 視点② 仕事の進め方 (マネジメント)

部下の急な休みの申し出にも組織として円滑に業務が推進できる体制や、短時間勤務などの多様な働き方にも対応できる組織づくり、無駄な仕事をなくすマネジメントができていないか、などを確認しました。

##### 視点③ 部下の個別事情把握

部下と円滑な関係を構築し、部下が持つ個別の家庭事情や配慮が必要なこと、部下がどのようなことでモチベーションが高まるか、などを把握できているか、確認しました。

##### 視点④ 自ら率先垂範

自らのワークライフバランスを大事にし、仕事の仕方や人生の楽しみ方において、部下が見本として憧れるような働き方ができているか、などを確認しました。

##### 視点⑤ イクボスに必要な知識

イクボスに必要な知識についての情報収集や研修への参加状況や、育児や介護に関する制度などを把握しているか、確認しました。

\*各視点に3問設定し、計15問で調査を実施。

(調査に合わせて、各県が独自に確認したい項目を、追加設問として設定することも可能とした。)

\*設問に対して、管理職が5段階でセルフチェックを実施。

5段階の基準

A : しっかり取り組んでいる (自己採点で90点以上)

B : 概ね取り組んでいる (自己採点で70点以上)

C : やや取り組んでいる (自己採点で50点以上)

D : あまり取り組んでいない (自己採点で30点以上)

E : 取り組んでいない (自己採点で30点未満)

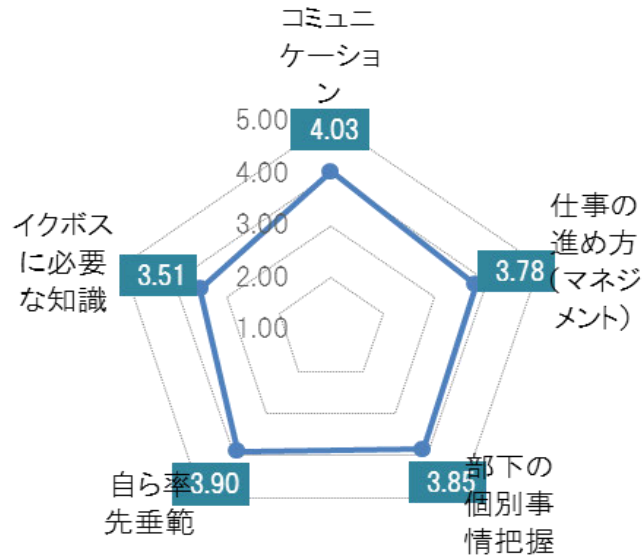
\*集計はA=5点、B=4点、C=3点、D=2点、E=1点として行った。

## 回答の傾向

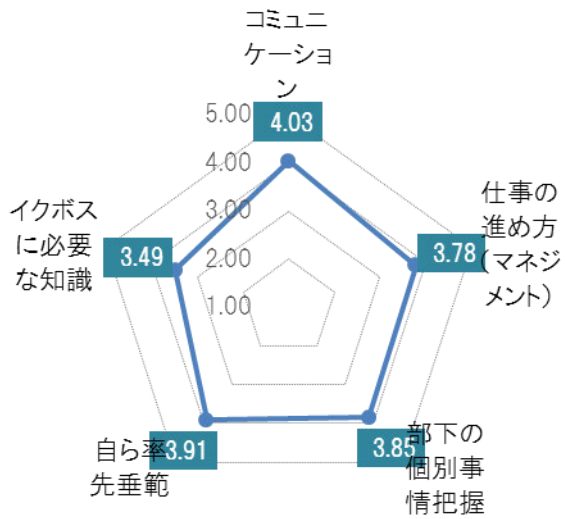
- ・部下とのコミュニケーションは、全般に高い評価となっている。
- ・業務の進行管理や適切な助言などに比べ、業務のスリム化の取組はやや低い評価となっている。
- ・育児や介護などの職員が抱える家庭事情は把握できているが、仕事に対する思いやキャリアに対する希望などの把握はやや低い評価となっている。
- ・定時退庁や休暇取得などの率先はできているが、仕事以外の活動への参加や新しい知識の取得はやや低い評価となっている。
- ・イクボスの意義や必要性に対する理解は低い評価となっている。

	全体	性別		年代					
		男	女	40歳以下	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61歳以上
コミュニケーション	4.03	4.03	4.00	4.00	4.16	3.99	4.01	4.06	3.92
仕事の進め方(マネジメント)	3.78	3.78	3.79	3.85	3.78	3.71	3.75	3.81	3.76
部下の個別事情把握	3.85	3.85	3.95	3.64	3.83	3.87	3.84	3.87	3.81
自ら率先垂範	3.90	3.91	3.83	4.01	3.82	3.75	3.84	3.98	4.07
イクボスに必要な知識	3.51	3.49	3.76	3.58	3.61	3.44	3.47	3.54	3.68
	3.82	3.81	3.86	3.81	3.84	3.75	3.78	3.85	3.85

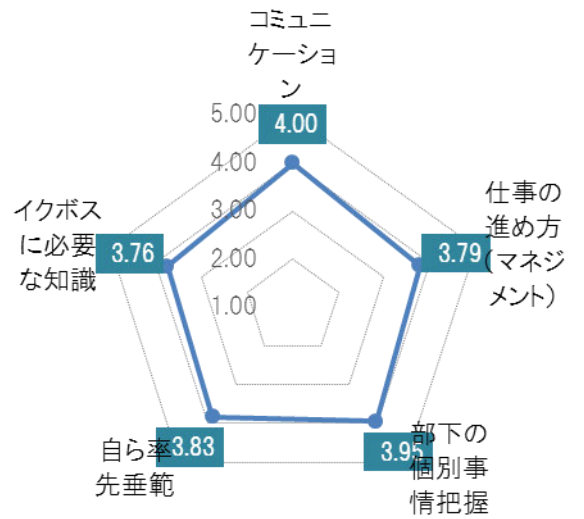
## 13県全体



## 13県全体 男

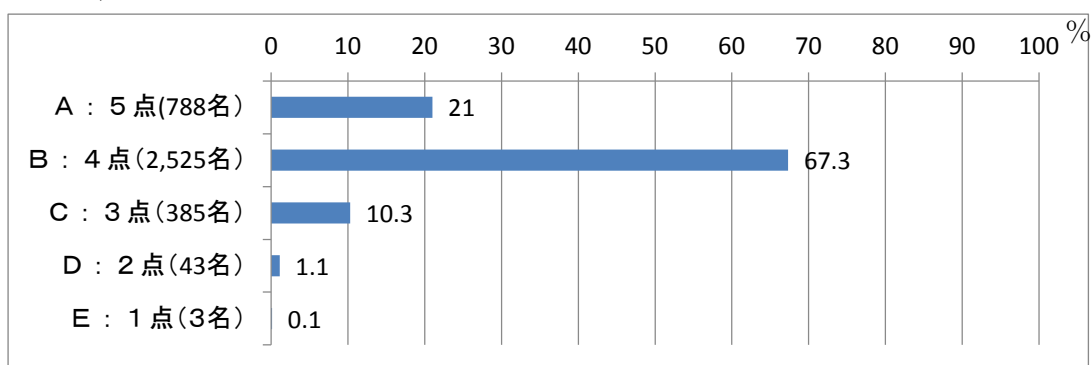


## 13県全体 女

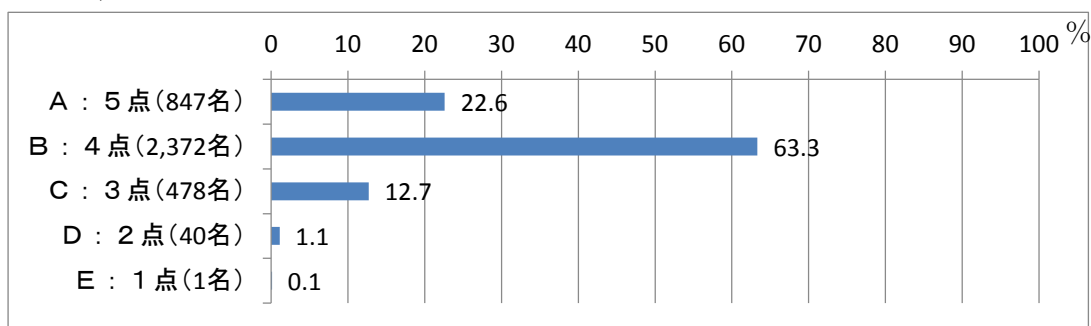


視点① コミュニケーション (平均点：4.03点)

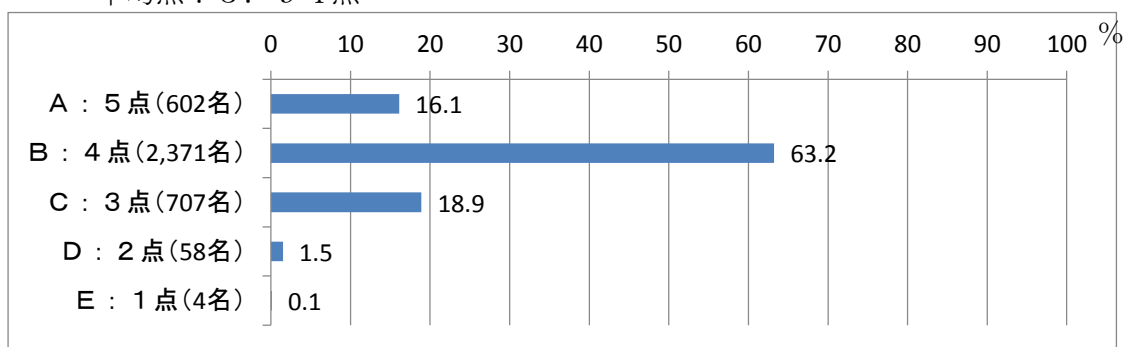
①－(1) どのようなタイプの部下とも分け隔てなくコミュニケーションがとれている。  
平均点：4.08点



①－(2) 部下から相談しやすい環境をつくっている。  
平均点：4.08点



①－(3) 管理職として成果を上げること、部下の育成を図ることも重要視して、コミュニケーションをとっている。  
平均点：3.94点

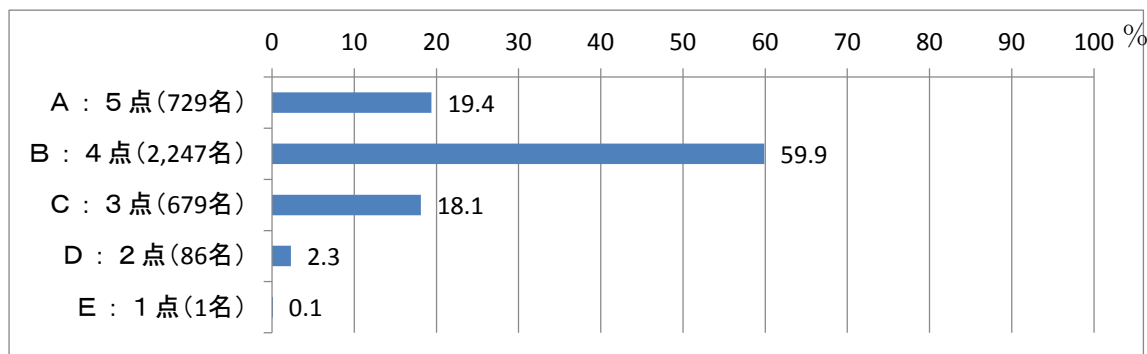


「(1)どのようなタイプの部下とも分け隔てなくコミュニケーションがとれている。」と「(2)部下から相談しやすい環境をつくっている。」については、AとBを合わせて9割近くが取り組めており、高い自己評価を示している。また「(3)管理職として成果を上げること、部下の育成を図ることも重要視して、コミュニケーションをとっている。」についても、AとBを合わせて8割近くが取り組めており、『コミュニケーション』の視点については、他の視点に比較して、全般に高い自己評価となっていると言える。

視点② 仕事の進め方（マネジメント）（平均点：3.78点）

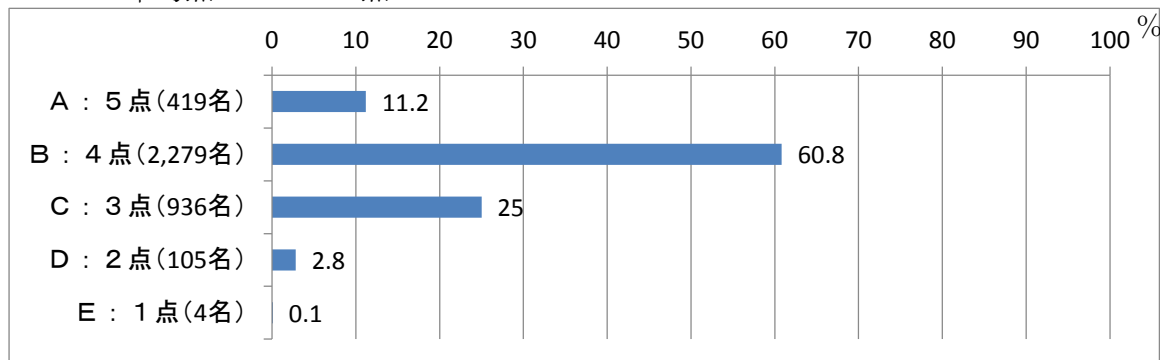
②－（1）日頃から早目の指示や進行管理を行い、部下が急に休んでも組織として対応ができています。

平均点：3.97点



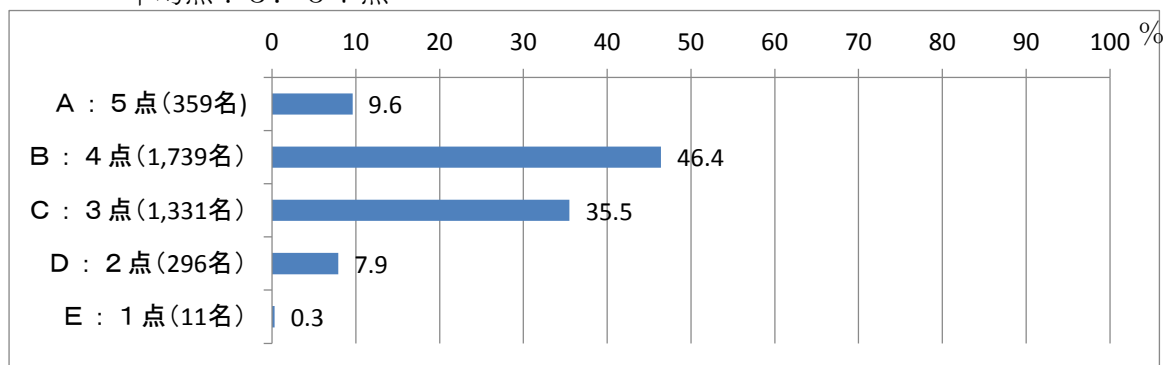
②－（2）部下が仕事を抱えていることを察知し、適切な助言や業務量を調整している。

平均点：3.80点



②－（3）業務のスリム化や効率化に取り組んでいる。

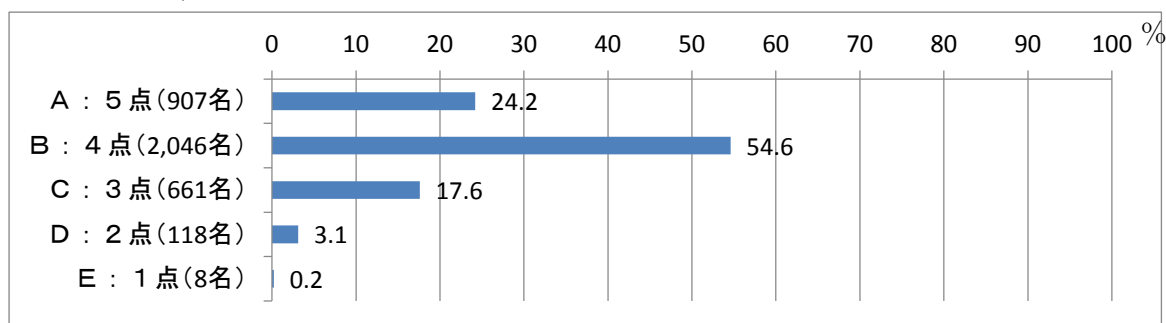
平均点：3.57点



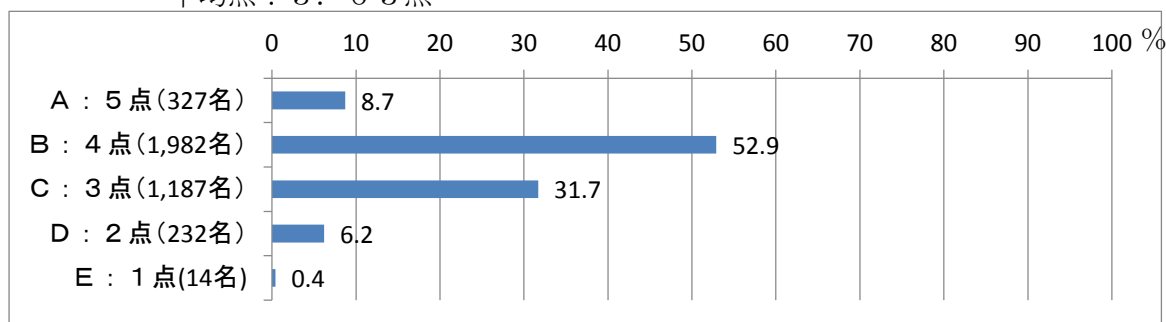
「(1)日頃から早目の指示や進行管理を行い、部下が急に休んでも組織として対応できている。」では、AとBを合わせて8割近くが、また、「(2)部下が仕事を抱えていることを察知し、適切な助言や業務量を調整している。」についても、AとBを合わせて7割程度が取り組んでおり、高い自己評価を示している。しかし、「(3)業務のスリム化や効率化に取り組んでいる。」については、AとBを合わせて5割強にとどまり、Cが約35%と相対的に低めの自己評価となっている。

視点③ 部下の個別事情把握（平均点：3.85点）

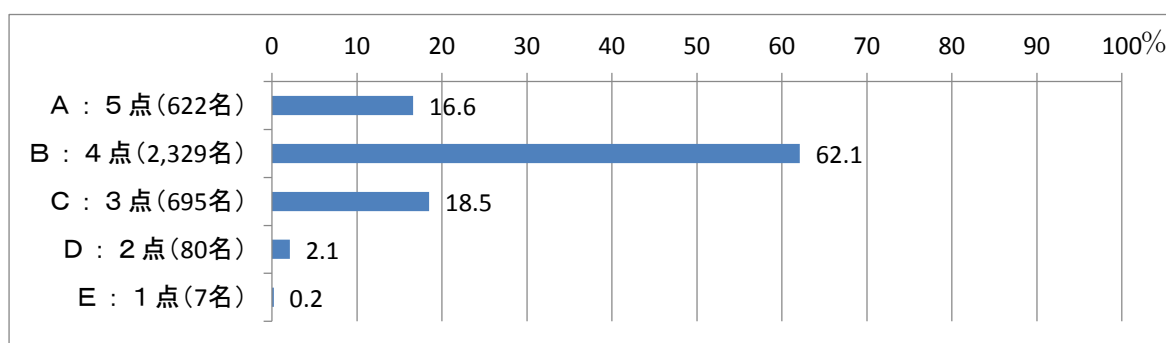
③ー（1）部下のタイムマネジメントに関する課題（育児、介護）を把握している。  
平均点：4.00点



③ー（2）部下の現在の仕事に対する思いや、今後の中長期的なキャリアに対する希望などを把握している。  
平均点：3.63点



③ー（3）部下の健康状態や性格を把握し、その人に合わせた対応ができています。  
平均点：3.93点

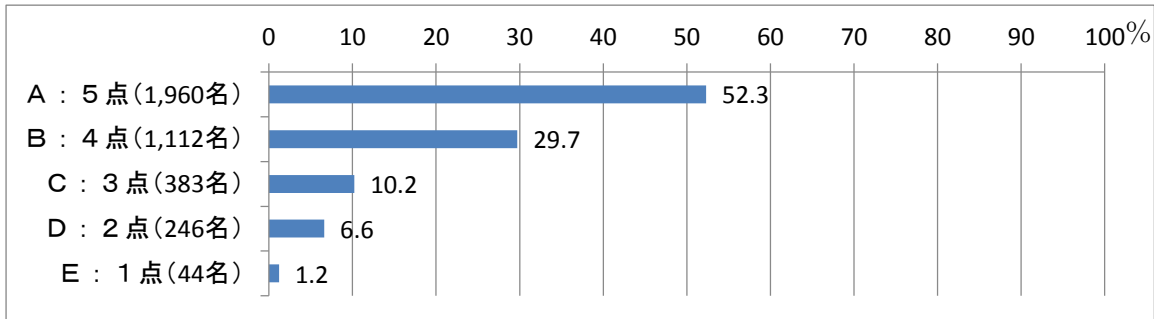


「(1)部下のタイムマネジメントに関する課題（育児、介護）を把握している。」や「(3)部下の健康状態や性格を把握し、その人に合わせた対応ができています。」については、AとBを合わせて8割近くが取り組めており、高い自己評価を示している。特に、「(1)部下のタイムマネジメントに関する課題（育児、介護）を把握している。」は、男性よりも女性のほうが平均点で0.25ポイント高い自己評価となっている。一方、「(2)部下の現在の仕事に対する思いや、今後の中長期的なキャリアに対する希望などを把握している。」については、AとBを合わせて約6割であり、Cも約3割に上り、相対的に低めの自己評価となっている。

視点④ 自ら率先垂範（平均点：3.90点）

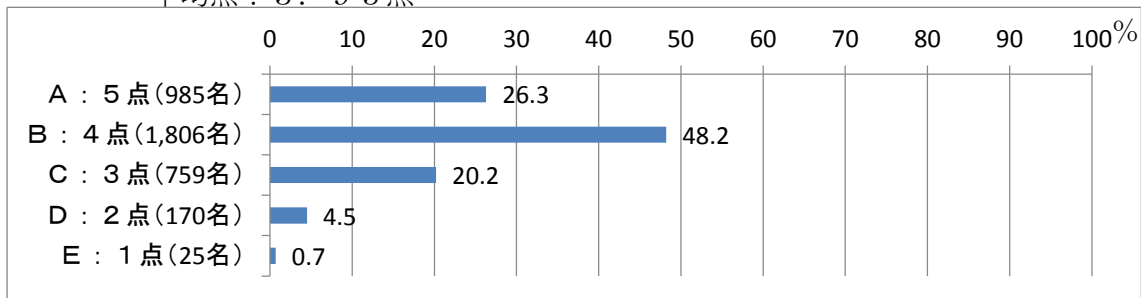
④－（1）定時退庁日はもちろん、業務に支障がない時は普段から自分が率先して退庁している。

平均点：4.25点



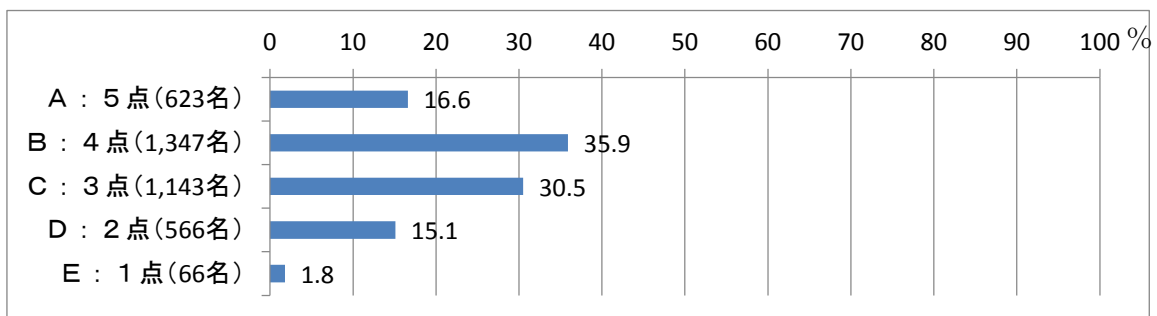
④－（2）仕事に真剣に全力で取り組むとともに、人生を楽しみ、自分自身がライフを充実させている。

平均点：3.95点



④－（3）仕事以外の活動にも積極的に参加するなどして、様々な体験や新しい知識の取得を心掛けている。

平均点：3.51点

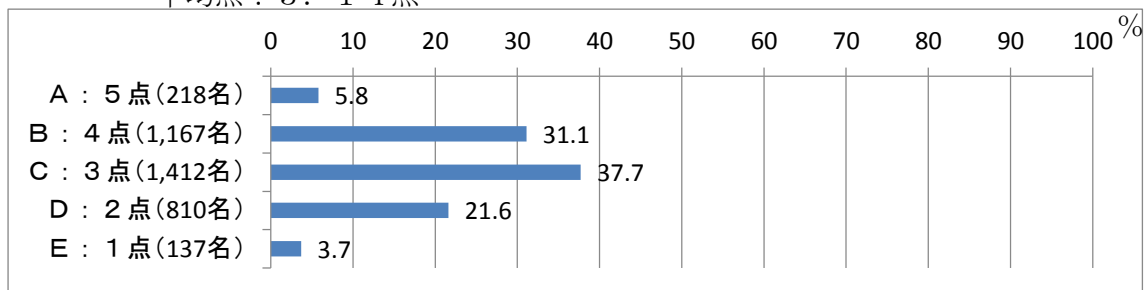


「(1)定時退庁日はもちろん、業務に支障がない時は普段から自分が率先して退庁している。」については、Aが5割以上に上り、AとBを合わせて9割近くが取り組めており、非常に高い自己評価となっている。特に、女性よりも男性のほうが平均点で0.23ポイント高い自己評価となっている。また、「(2)仕事に真剣に全力で取り組むとともに、人生を楽しみ、自分自身がライフを充実させている。」についても、AとBを合わせて7割以上が取り組めている。一方、「(3)仕事以外の活動にも積極的に参加するなどして、様々な体験や新しい知識の取得を心掛けている。」については、AとBを合わせて約5割にとどまり、Cも約3割に上り、相対的に低めの自己評価となっている。

視点⑤ イクボスに必要な知識（平均点：3.51点）

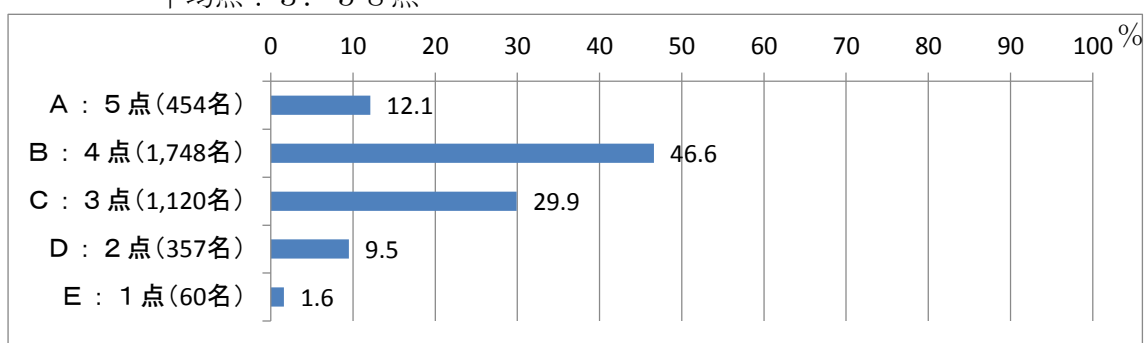
⑤－（1）イクボスに関する情報の収集や研修への参加などに積極的に取り組み、知識を高めている。

平均点：3.14点



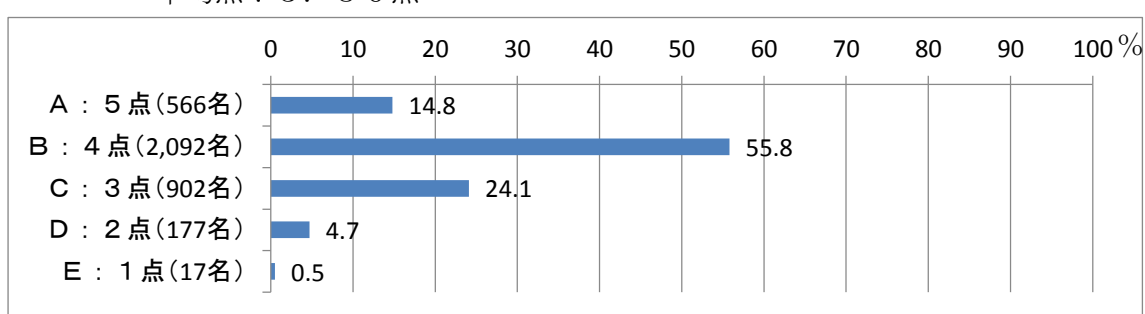
⑤－（2）イクボスがなぜ大切なのか、自分の言葉で説明ができる。

平均点：3.58点



⑤－（3）育児休業や介護休暇などに関する庁内制度や、新しい働き方に関する社会全体の取組などを理解している。

平均点：3.80点



「(3)育児休業や介護休暇などに関する庁内制度や、新しい働き方に関する社会全体の取組などを理解している。」については、AとBを合わせて約7割が取り組んでいるが、「(2)イクボスがなぜ大切なのか、自分の言葉で説明ができる。」については、AとBを合わせて約6割であり、Cも約3割に上り、相対的に低めの自己評価となっている。さらに「(1)イクボスに関する情報の収集や研修への参加などに積極的に取り組み、知識を高めている。」については、AとBを合わせて4割に満たず、Cが4割弱、Dも約2割に上り、あまり取り組めておらず、低い自己評価となっている。なお、この『イクボスに必要な知識』の視点については、全般に男性よりも女性のほうが平均点で0.2～0.3ポイントほど高い自己評価となっている。